



**号外**  
2017.05 月号  
民進党 民進プレス編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988(代表)  
メール press@minshin.or.jp  
URL https://www.minshin.or.jp/



**【連絡先】**  
民進党参議院比例区第37 総支部  
参議院議員 大島九州男  
□東京都千代田区永田町 2-1-1  
参議院議員会館910号室  
電話 03-6550-0910



「お」のつく  
のおかた  
あなただの「お!」、見つけに来ませんか?  
☑福岡県直方市感田 1466-3  
電話 0949-28-8162

**第193回 通常国会論戦続く 其の2**

**本会議**

**大島 九州男  
参議院 本会議に登壇!**

**今村復興大臣(当時)を追及…復興大臣辞任へ**



4月19日、参議院 本会議において、福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律案について、会派を代表して質問しました。  
冒頭、今村復興大臣の自主避難者に対する暴言に対し、安倍総理大臣に任命責任を果たすべく今村復興大臣の罷免を強く求めました。

震災復興担当の経験をもとに大島九州男は、自然災害と人災の違いを認識し被災者の心に寄り添えば今村復興大臣の暴言は出てこない、また、発言を撤回しても発言した事実はいつまでも被災地・避難者の心に記憶されると述べ、今村復興大臣と被災者の信頼関係は崩れていると指摘しました。  
法案については、除染の費用負担(今回の特例で国が費用を負担することになり、除染者負担の原理に矛盾するのではないか)、国民に対する説明責任(現在行われている賠償費用のための電気料金の上乗せには国民の理解を十分得なかった。今回新たに国民に費用が負担されるなら、国民に理解のできる十分な説明が必要ではないか)、被災児童生徒に対するいじめへの対策(今回の今村復興大臣の発言による新たないじめの懸念と対策)を、山本環境大臣、世耕経産大臣、今村復興大臣、松野文科大臣にそれぞれ問い質しました。



最後に、人の心に寄り添っていかなくてはならない本来の使命を忘れ、心ない政治が繰り広げられている現状を指摘し、安倍総理大臣をはじめ全ての閣僚には反省し根本の考えを正してもらい、二度と同じ被害者を出すことのない国に生まれ変わらせることを主張し、質問を終わりました。

今村復興大臣は4月26日辞任し、後任に吉野正芳(衆院福島5区)氏が復興大臣となりました。

- 本会議 質問要旨○
- ①復興大臣に就任した心構え、原発事故の受け止め方
  - ②自己責任などの心ない発言の真意
  - ③汚染者負担の原則に矛盾しない論理
  - ④新たな国民負担についての国民への納得いく説明
  - ⑤新たな国民負担についての国民への周知の仕方
  - ⑥帰還困難区域全域における除染費用の負担の在り方
  - ⑦大臣の自主避難者の発言が新たないじめを生む可能性
  - ⑧いじめが発生する可能性に対する対応方針
  - ⑨健康被害の不安を解消する健康調査等の対策



**政策活動**

**『専門職大学等を創設する法律案に関する勉強会』を開催**

専門職の人材育成に取り組んできた大島九州男には十年がかりの第一歩の法律案です。

民進党内の文部科学部門に関係する議員に対し、現場への理解を深めて、法案審査だけでなく今後の制度設計に繋げるため、あらゆる機会を用いて関係団体からのヒアリングの勉強会を開催しました。



**4/11 文科部門 勉強会**  
全国専修学校各種学校総連合会とのヒアリング



**4/12 文科部門 会議**  
日本私立大学団体連合会・日本私立短大協会



**4/26 文科部門 勉強会**  
職業教育・キャリア教育財団とのヒアリング



今村復興大臣の見解・復興政策の確認

4月14日、参議院 東日本大震災復興特別委員会で、今村復興大臣の所信に対する質疑を行いました。今村復興大臣には、自然災害と人災の違いを認識して自主避難者に寄り添う観点から具体的な対策を質問しました。今村復興大臣からは、自主避難者は個々に事情があるので個別具体的に話を聞いて対応していきたいとの答弁を引き出し、今後委員会等で確認していくと対応しました。



また、被災者と触れる機会が多くあれば今回の自主避難者に対する発言が出なかったという思いから、今村復興大臣が福島にどれくらい訪問しているかについて確認しました。

福島の風評被害に関して修学旅行の回復状況を確認し、被災地企業の人材獲得力向上を図るための具体的な支援策を確認しました。



被災児童生徒に対するいじめに関しては、4月11日に松野文科大臣

が出されたいじめの防止についてのメッセージの一部『いじめの背景には被災地の状況や放射線に関する理解不足からくる、大人の配慮に欠ける言動があるとも考えられる。被災された方々、故郷を離れて生活をされている方々の思いを理解することが必要である。』を紹介し、今村復興大臣の見解を質しました。

○委員会質問要旨○

- ①復興大臣の自主避難者の発言に関する認識
- ②復興大臣の福島県への訪問数
- ③被災地企業の人材獲得力向上を図るための支援策
- ④福島県の教育旅行の回復状況、成果
- ⑤帰還困難区域の認識
- ⑥被災児童・生徒等に対するいじめ防止の取り組み
- ⑦復興大臣の発言から新たないじめ発生の懸念の見解



活動 「未来のための公共」集会に参加

4月21日夜、国会前にて、今国会で審議されているいわゆる「共謀罪」の法律に反対する集会に参加しました。

大島九州男もマイクを握り、安倍政権の問題点を指摘しました。



活動 キルギス大使 表敬訪問



キルギス共和国は、中央アジアに位置する旧ソビエト連邦の共和制国家です。その在日キルギス共和国大使館のチンギス・アイダルバコフ特命全権大使が、大島九州男の会館事務所に表敬訪問されました。

キルギス共和国の現状と課題、日本との関わりについて、大島九州男と議論し、今後の両国の発展を願い、固い握手を交わしました。

活動 日本航空学園グループの合同入学式に参加

4月9日、日本航空学園グループの合同入学式に参加させて頂きました。

日本航空高校山梨、日本航空高校石川、日本航空大学校、日本航空専門学校、東京サテライトを、山梨県、石川県、東京都、北海道の4キャンパス同時TV中継で行いました。

大島九州男は、雄飛会連合会会長としてご挨拶させて頂きました。

